

サトウハチロー

貧しければ貧しいなりに

貧しければ貧しいなりに

小鳥を飼い 金魚蜂を置き

小窓に草のみどりをからませる

それをわが子といっしょにながめるために

ただ それだけのよろこびのために

サトウハチロー

母という字を書いて

ごらんなさい

母という字を書いてごらんなさい

やさしいように見えて むづかしい字です

格好のとれない字です

やせすぎたり 太りすぎたり ゆがんだり

泣きくづれたり・・・笑ってしまったり

お母さんにはないしよですが ほんとうです

サトウハチロー

一番苦手なのは

一番苦手なのは

おふくろの涙です

何もいわずに

こっちを見ている

涙です

その涙に

灯りが

ゆれたりしている

そうして

灯りが

だんだんふくらんでくると・・・

・・・これが一番苦手です